

西小山街づくり整備計画改定素案に対する意見募集の実施結果について

1 意見募集期間

令和5年1月12日（木）から2月13日（月）まで

2 周知方法

(1) 掲載方法

めぐろ区報（令和5年1月15日号）

区ホームページ（令和5年1月12日（木）から2月13日（月）まで）

住宅課メールマガジン「住まいの情報」（令和5年1月20日（金））

目黒区LINE公式アカウント（令和5年1月16日（月）、2月3日（金））

目黒区公式ツイッター（令和5年1月16日（月）、2月6日（月））

目黒区公式YouTubeチャンネル めぐろTV

(2) 閲覧場所

目黒区総合庁舎本館1階区政情報コーナー、6階木密地域整備課、南部地区サービス事務所、
住区センター（月光原・向原・碑・原町・大岡山東）、図書館（目黒本町・洗足）、クラフトビレッジ西小山

(3) 説明会

オープンハウス型説明会

日程	時間	会場	来場者数
1月19日（木）	午後6時から午後9時まで	クラフトビレッジ西小山東棟	計18名
1月22日（日）	午前9時から午後4時まで		

3 意見提出状況

	個人	団体	議会	合計
提出者数	5	0	2	7
	メール 1 FAX 1 オンラインフォーム 3		メール2	メール 3 FAX 1 オンラインフォーム 3
意見件数	17	0	10	27

4 意見に対する対応区分別の件数

対応区分	内容	件数
1	ご意見の趣旨を踏まえて、計画案に反映します。	3
2	ご意見の趣旨は素案に取り上げており、その趣旨に沿って取り組みます。	10
3	ご意見の趣旨は計画案に取り上げませんが、今後の事業実施の中で趣旨を踏まえて努力します。	10
4	ご意見の趣旨は、今後の検討課題とします。	3
5	ご意見の趣旨に沿うことは困難です。	0
6	ご意見の趣旨を関係機関・団体に伝達します。	1
7	その他	0
合計		27

5 意見内容と検討結果

意見 No.	区分	種別	改定案での該当頁	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果
第1章 地区の将来像						
1	個人	メール	2, 3	当整備計画の実現度にあわせて、日常の街づくりや防災の街づくりイメージ図が「サクラ咲く」のように、現状からどのように変わっていくかを色づけていただくと、とても楽しみになります。	3	「サクラ咲く」といった色付けはしておりませんが、西小山街づくり協議会より提案のあった「一人一人が参加し支え合う街 西小山」を本計画の基本的な考え方として、将来のまちの姿を示しています。
第2章 整備計画の改定にあたって						
2	個人	メール	10	2-5 社会背景の変化と街づくりへの新たなニーズを大変期待している。特にデジタル技術の発展や多様なライフスタイルへの対応が、今後大いに発展かつ区民生活に大きな変化をもたらすと思う。マイナンバーカードの利活用やSNSによる区と区民の情報交換のしくみが大きく変わると期待している。他都市ではすでに実現しているように、具体的なイメージおよび区民サービスのあり方や改革を盛り込んでほしい。	3	デジタル技術の活用等については、本計画に掲げる施策「地域の地域活動や魅力を発信するツール作成」をはじめとする個々の施策を推進していく中で、具体的に検討を進めてまいります。
3	議会	メール	10	2-5社会背景の変化と街づくりへの新たなニーズの新しい働き方の定着「テレワークの推進」で、特に新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点とあるが、5月8日には5類に引き下げとなることを踏まえれば、「感染症拡大防止等の観点」とした方が良い。	1	記載を修正します。
4	個人	メール	12	目標年次の通り、色々な計画との関連性を保ちながら当計画のゆり戻しなどを最小限度にするしくみが必要と思われる。令和7年度区情報システムの再構築計画も追加されるかもしれない。どのタイミングでどのように整合性を取りながら、追加変更していくのか基本方針だけでも記載してほしい。	2	本計画については、社会経済状況の変化や取組の進捗状況に加え、関連計画及び制度等の変化が生じた際に必要に応じて見直しを図っていくこととしています。
第3章 街の現況						
5	個人	メール	13	一般的には、少子・高齢化が進む世の中なのに、西小山では、若者が増えて、高齢者が減少傾向にある。当現状を分析して、必要があれば各施策に反映してほしい。特にIT利活用などによる社会活動インフラ整備は、若い生産年齢者の活躍に期待が大きい。	2	地域の人口構成等の推移を踏まえ、「子育て環境の充実」等の新たな施策を追加しています。また、IT利活用などデジタル技術の活用については、本計画に掲げる施策「地域の地域活動や魅力を発信するツール作成」をはじめとする個々の施策を推進していく中で、具体的に検討を進めてまいります。
6	個人	メール	29	住環境分野における設問6、11の理想的な街の姿と現在の西小山での満足度の差表示が間違っている。	1	記載を修正します。

意見 No.	区分	種別	改定案での該当頁	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果
第3章 街の現況 の続き						
7	個人	メール	33, 34	必要性を重視した回答割合からの比較分析であるが、ポートフォリオ的に、実現性(リスク含む)、投資対効果、区行政の戦略的な考え、将来性など配慮して、関連各位の優先度・緊急度に対する共通評価基準を見直してほしい。	3	各施策の優先度・緊急度については、引き続き西小山街づくり協議会を中心に地域の方々と検討を進め、具体化できる取組は、区の実施計画に位置付ける等の措置を図っていきます。
第4章 街づくりの課題						
8	個人	メール	35-37	街づくりの課題で、課題1の地域防災向上には、達成目標の不燃領域率70%が設定されているが、課題2~5についても目標設定をしてほしい。各設定により、後述のPDCAサイクル含む進捗管理など定期的な見直しや改善が実現しやすく、長期基本計画の目標設定ともリンクしていることが明確になると思う。	3	防災の街づくりに関する目標として、課題1や取組方針1の中で不燃領域率70%を掲げておりますが、日常の街づくりに関する取組については、施策が多様な分野にまたがるため、各施策に関連する他の計画に定める目標と整合を図りながら、施策を推進することとしています。また、計画の進捗については、本計画P64に記載のとおり、進捗管理を行っていきます。
9	議会	メール	37	課題5：環境に優しい街づくり、第5章 街づくりの基本的な考え方 取組方針2：環境に配慮した持続可能な街づくりの中で、ゼロカーボン、緑の創出、脱炭素化の推進、桜並木の維持管理等の様々な取り組みが挙げられているが、緑道ベンチへの空き缶や吸い殻のポイ捨て、公園内への不法投棄による近隣住民からの苦情が多発しており、ごみ問題についても追記しておくべきである。	3	各施策を推進する上で配慮する事項として、各主体が取り組めることを検討してまいります。
第5章 街づくりの基本的な考え方						
10	個人	FAX	39	前回の整備計画等により、西小山駅周辺の地震時の危険度が着実に低減されている。それに伴い、道路拡張、防災街区整備事業によって、街の形状が従来とは異なってきている。例えば、道路幅が広くなることによって、新たに直線上の大きな空地が生成されたが、地震による火災発生時に悪い条件が重なるとこの空地に沿って火が伝わる可能性もあり得る。「取組方針1：ハード・ソフト両面からの防災街づくり」において、新しく形成された街の形に対する風のシュミレーション等のソフト面からの検証の必要性を盛り込み、様々な想定により起こり得る危険可能性を住民に予め知らせるような取組を明記した方が良いと考える。今回の計画が決定すれば、更なる安全性が確保される様に見えるので、住民の危機感を徐々に低下していく事になる。街の変化に応じた新しい危険回避方法の検討結果を組み入れた防災訓練を実施することで防ぎ、同時に防災訓練を活性化することにより、「取組方針4：多様な主体の参加による賑わいと活力のあるコミュニティ醸成」に生かせるのではないかと考える。	2	災害や防災街づくりに関する情報発信については、本計画に掲げる施策「地域防災マップ作成等の防災街づくり情報の発信」を具体的に推進するにあたって、参考にさせていただきます。また、「新たな危険回避方法の検討結果を組み入れた防災訓練等」も本計画に掲げる施策「多様な主体が連携する防災訓練やイベント実施体制の構築」の一環として、地域の方々と検討を進めてまいります。

意見 No.	区分	種別	改定案 での 該当頁	意見内容(要旨)	対応 区分	検討結果
第6章 取り組む施策						
11	個人	メール	43、44	図3-27で優先度評価結果が、6-1取組方針別50施策にいかにか反映されたのか？また6-2整備計画図(A3) 地区全体/補助46号線沿道・沿線/商店街の取組みとの関連性が不明確で、各施策の優先度はどうなったのか？	2	図3-27は西小山街づくり協議会がアンケート調査を実施し、街づくりの課題を整理・分析したものです。アンケート結果については、主に現行計画に位置付けている施策の見直し内容を判断する際に活用しています。優先度の高い取組については、施策の記載を具体化したり、他の施策から細分化して個別の施策にするなどの対応を図っています。 6-2整備計画図にも50施策を記載しており、地区全体、補助46号線沿道・沿線、商店街を対象とした取組に分類し、場所が明確な施策については整備計画図に記載しています。各施策の優先度については、引き続き西小山街づくり協議会の中でも検討を進めていきます。
12	個人	メール	45	意見募集後、各整備プログラムに関する今後の検討スケジュールはどのように進めるのですか？ 各取り組み分野・整備プログラムを個別に検討していくのでしょうか？	2	各整備プログラムについては、プログラムごとに各主体の取組内容や実施期間を示しています。区が実施するものうち、具体化できる取組については、実施計画に位置付けるなどの措置を図っていきます。個々の施策の具体的なスケジュールについては、引き続き西小山街づくり協議会の中でも検討を進めていきます。
13	議会	メール	49	建物の耐震化や感震ブレイカーの設置など、必要な大地震対策を進めていくためにも、助成制度をいっそう拡充すること。	3	感震ブレイカーの設置に関する助成制度については、継続して推進します。また、制度拡充等については、東京都の実施事業等他の支援制度の内容を踏まえ、必要な制度等の検討に努めてまいります。また、耐震化を含めた不燃化を促進していきます。
14	個人	オンライン フォーム	52	少子化が進む現代社会の中で重要な子どものための施策が組み込まれていない。公園は、子どもたちの遊具が豊富に揃っていて初めて行きたいと思える空間になる。西小山公園で子どもたちが元気に遊んでいる光景を見たことがなく、魅力が無い。オープンスペースとして十分に活用されている訳でもない。区の基準である一人あたりの公園面積を満たすためだけに確保されているスペースになっている。高齢者が多い地域のため、このような声をあげる人数が少ないのかもしれないが、子育て世帯に魅力的な地域にするために、子どもたちの施策を組み込む必要があると考える。	3	西小山公園では、目黒区みどりの基本計画に基づく「住民参加を基本とした公園づくり」の取組として、公園整備の際には地域とともに整備内容を検討し、開園後も、花壇管理が地域のボランティア活動（グリーンクラブ活動）として行われています。 西小山公園での更なる遊具導入等の公園機能拡充については、本計画の施策に掲げる「公園等のリノベーション」として、施設の老朽化対策等の機会をとらえ、住民参加を基本とした公園づくりの中で検討を進めていきます。

意見 No.	区分	種別	改定案 での 該当頁	意見内容(要旨)	対応 区分	検討結果
第6章 取り組む施策 の続き						
15	個人	オンライン フォーム	52	クラフトビレッジ西小山の隣に新しくできる広場には遊具は設置されるのか。これまでの資料を見る限りその計画は無いように見える。整備内容の決定は多数決に頼らないようにしてもらいたい。	3	原町一丁目7番・8番地区防災街区整備事業にて整備予定の新しい広場については、地域の防災性と賑わいの向上に貢献する広場として、地域住民が主体となった西小山街づくり協議会を中心に、整備内容や整備後の利活用を含め検討を進めていきます。
16	個人	オンライン フォーム	52	西小山公園に子どもたちが魅力を感じる滑り台などの遊具を設置してほしい。土の地面を人工芝にするなど明るい空間を作るとともに、安全性も確保してほしい。また、新しくできる広場も同じく、滑り台などの遊具設置と人工芝化をお願いしたい。	3	西小山公園では、目黒区みどりの基本計画に基づく「住民参加を基本とした公園づくり」の取組として、公園整備の際には地域とともに整備内容を検討し、開園後も、花壇管理が地域のボランティア活動（グリーンクラブ活動）として行われています。 西小山公園での更なる遊具導入等の公園機能拡充については、本計画の施策に掲げる「公園等のリノベーション」として、施設の老朽化対策等の機会をとらえ、住民参加を基本とした公園づくりの中で検討を進めていきます。 原町一丁目7番・8番地区防災街区整備事業にて整備予定の新しい広場については、施工主体の事業組合や、地域住民が主体となった西小山街づくり協議会を中心に、整備内容や整備後の利活用を含め検討を進めていきます。
17	個人	オンライン フォーム	52	子育てを行う世代にとって、西小山駅・目黒区側の公園・緑化部分が不足していることは由々しき問題と感じています。小さな広場はあるものの、遊具はほとんどなく、人も集まりづらい環境のため、子どもを伸び伸びと遊ばせるには躊躇してしまいます。結果、荏原南公園や林試の森公園まで遠征せざるを得ず、小規模でもよいので、明るく安全で、遊具がほどほどにある公園が増えることを願っています。	3	公園等の不足する地域での整備を進め、本計画の施策にも掲げる「公園等のオープンスペースの確保」に取り組みます。また、公園の整備内容等については、みどりの基本計画に基づく「住民参加を基本とした公園づくり」の中で検討を進めていきます。
18	議会	メール	52	公園等のオープンスペースについて 計画区域の不燃化・難燃化は以前と比べて進んでいるが、まだ、街かど公園や広場など空地が少ない状況である。引き続き確保に努めること。	2	木造住宅密集地域整備事業や防災街区整備事業、その他街づくり事業等によるオープンスペースの確保とともに、公園等の不足する地域での整備を進め、本計画の施策にも掲げる「公園等のオープンスペースの確保」に取り組みます。

意見 No.	区分	種別	改定案 での 該当頁	意見内容(要旨)	対応 区分	検討結果
第6章 取り組む施策 の続き						
19	個人	オンライン フォーム	56	<p>本計画含め無電柱化推進計画等を拝見した。洗足付近は道路が狭く、電柱があるため、自転車や自動車の事故が多発している。今予定している箇所だけでなく、円融寺通り、補助第46号線（目黒区南1丁目付近まで）など、道路の拡張工事、歩道整備（ガードレール等）、無電柱化を早急に進めてほしい。</p> <p>また、私道を含めた無電柱化整備を進めてほしい。洗足付近は建物が密集しており、狭い私道が多い。私道のため個人ではなかなか工事することが難しく、防災・犯罪の面でも心配。区道、都道、国道のみでは、防災力が向上したとは言えない。洗足付近は、高齢者が多く、なかなか私道を整備しようとはならず、子育て世帯に負担をさせることになる。今後、区を担う存在である子育て世帯のためにも、私道も含めて区主導で推進していくことが必要と考える。また、一部助成では利用する人は少ないため、全額助成、区主導でまとめて無電柱化を進めてほしい。</p> <p>「支え合う心を育み 災害に強く 安全・安心で 賑わいと活力に満ちた 文化的な 潤いのある 暮らしやすい街」を実現するにも必要なことと考える。</p> <p>今回、補助第46号線の道路拡張工事（洗足付近まで）を実施しているが、実施範囲が中途半端ではないかと感じた。この先には、保育園が多数あるため、目黒区南1丁目付近まで整備する必要があるのではないか。拡張ができないにしろ、整備（ガードレール設置、無電柱化）は必要だと思う。</p>	4	<p>道路の無電柱化については、目黒区無電柱化推進計画に基づき、道幅の狭い道路、多額の整備コスト、長期にわたる整備期間、地域住民との合意形成など様々な課題があることから、「整備計画路線」を選定しています。</p> <p>円融寺通りにつきましては、一部区間が整備計画路線に入っており、将来的に無電柱化事業に着手する路線に位置付けています。</p> <p>また、整備計画路線の中から「優先整備路線」を選定しており、優先整備路線を計画的かつ重点的に整備するため、それ以外の道路や私道の無電柱化整備に早期着手することは困難ですが、いただいたご意見は今後の検討・研究課題とさせていただきます。</p> <p>なお、南一丁目付近の補助第46号線の整備工事については、事業者である東京都に伝えます。その他安全対策については、歩行者への安全対策をはじめ、通行車両へのスピード抑制対策や注意喚起など、交通管理者と協議し、必要な対策を考えてまいります。</p>
20	議会	メール	58	<p>補助第30号線は、相変わらず駐停車している車両が多くあり、自転車の走行を阻害している実態もあり、改善すること。</p>	2	<p>本計画に掲げる施策「道路の交通安全対策」の一環として、駐車対策の強化に向けた関係機関との調整や対策の検討を進めてまいります。</p>
21	個人	オンライン フォーム	59	<p>インフラ面では路線バスの開通を期待します。洗足駅～渋谷駅間のバスが、西小山駅あたりを通過してほしい。</p>	2	<p>本計画に掲げる「新たな交通手段の導入支援」の施策を推進する中で、西小山街づくり協議会を中心に検討を進めていきます。</p>
22	議会	メール	60	<p>第6章 取り組む施策 6-3整備プログラム 取組方針4：多様な主体の参加による賑わいと活力のあるコミュニティの醸成の中で、施策③の多様な働き方ができる環境づくりについて、クラフトビレッジ西小山の利活用による地域住民等の働く場確保とあるが、東棟は本社機能が移転しており、サテライトオフィスとしての利活用は不可能ではないか。</p>	4	<p>クラフトビレッジ西小山の利活用については、東棟のみでなく施設全体について事業者と連携・協力を図りながら、検討を進めてまいります。</p>

意見 No.	区分	種別	改定案 での 該当頁	意見内容(要旨)	対応 区分	検討結果
第7章 整備計画の実現に向けて						
23	議会	メール	64	7-3整備計画の進捗管理 取組実績と住民の実感の両面からの進捗管理は、アンケートと公表の頻度を具体的に●年に●回実施と明記しておくべきである。	1	計画の確実な進捗管理を行うため、アンケートの実施時期を明記します。
その他や全体に対する意見						
24	個人	メール	—	現在までの統計的収集データや区民・協議会調査アンケートなどを分析し、区全体の整備計画との整合性を分かりやすくまとめられていて理解しやすい。 整備計画の実現に向けた推進体制や進捗管理がどのように効率的に推進するのか不安。 住宅街が中心の西小山では、多様な賑わいの街より、防災に強く安心して静かに暮らせる、環境にやさしい街づくりの優先度が高くなることを期待する。	2	“災害時などの安全安心の確保を実現する取組”と“普段の暮らしやすさや地域の魅力を向上させる取組”の両立を図りながら、計画に掲げる地区の将来像の実現に向けて取り組んでいきます。
25	議会	メール	—	西小山周辺の商業環境について 西小山駅の地下化整備に伴い、駅ビルにスーパーや百貨などが入るなど駅周辺はスーパーやチェーン店が増え、商業環境が以前と違ってきている。テナントも短期間で変わる傾向であり、商店街の努力とともに、行政のテコ入れも必要である。	2	西小山駅周辺の商業環境の維持に向け、「地域に密着した商店街の活性化支援」や「多様な働き方が出来る環境づくり」、「店舗等の建替え支援策の充実等」の施策を推進してまいります。
26	議会	メール	—	クラフトビレッジ西小山には週末、家族連れなどにぎわいをみせているが、交通整理など安全対策に気を配ること。	6	安全対策を適切に行うよう、事業者に伝えます。
27	議会	メール	—	高齢者のウォーキングのコースにもなっている立会川緑道について、休憩することのできるベンチなどを増やすこと。	4	緑道内での新たなベンチの設置は、その周辺に対する生活環境への配慮から計画的に整備を進めることは難しいため、個別に対応を検討していきます。